

Home > Series > 今週のPARIS > 近頃パリでは、美味しいお菓子はパッケージ...

Series 最前線で活躍するクリエイターの連載コラム。



**Mariko Omura**  
madame FIGARO japon パリ支局長

今週のPARIS

近頃パリでは、美味しいお菓子はパッケージングも愛らしい。

2014.10.15

Paris



クリスマスが近づくと、パリ市内のスイーツ関連ブティックには種々様々なアドヴェント・カレンダーが並ぶ。アドヴェントとはイエス・キリストの到来を待つ期間のことで、このカレンダーは12月1日から24日までの24個のボックスを秘めているのが特徴だ。24個のボックスにはチョコレートやキャンディーなどが1個ずつ隠されていて、日めくりのように毎日窓をひとつずつ開けて、中のスイーツを24日まで楽しむ、という趣向。今日は何が？ この甘いサプライズが詰まったカレンダー、子どもだけでなく、大人にも人気である。スーパーマーケットのものは安価だけど、中のお菓子がいまひとつ。有名菓子店のものはパッケージも魅力的で中のスイーツが美味しい.....ただ、手頃な価格で見つけるのが難しい、というのが悩み。でも、「Mazet (マゼ)」のアドヴェント・カレンダーは、プラリネ、チョコレート、キャラメル、フルーツパテなど24個のパリエーションも豊富で、味もよし。価格も19.70ユーロ。そして何よりも、パッケージングのイラストがポエティックでチャーミング!!



マゼのアドヴェント・カレンダー 19.70ユーロ。1日から24日まで、ボックスの窓を開けると日替わりでマゼ自慢の様々な味が楽しめる。mini laboによるボックスは12月24日が過ぎても、保存しておきたい愛らしさ。

アーモンドをローストしてキャラメルをかけたプラズリンで有名なマゼ。このアドヴェント・カレンダーだけでなく、日本でも知られた女性3名のデザインユニット mini laboが手がけたパッケージの商品が店頭が増えている。どれも色調は淡いピンクやブルーと穏やかで、そこに花や鳥が遊ぶといった優しい世界。



(上段) 鳥と花が描かれたチョコレートはクリスマスや新年を祝うメッセージとして (1枚 4.90ユーロ)、6種の板チョコも新たにmini laboコレクションが登場。(下段) マゼのスペシャリティが3種類ずつ納められたヴィンテージプリントのボックス。箱で選ぶか、中身で選ぶか.....。各18.50ユーロ。

マゼの店はマレ地区にあり、日本で入手しにくい種類のチョコレート菓子も揃っている。従来のクラシックなパッケージも、メソンの名物菓子プラズリンの17世紀からの歴史を感じさせて美しい。お土産探しに行ってみよう。嬉しい事に、ここは日曜日も営業!



1636年、ローストしたアーモンドをキャラメルコーティングしたプラズリンを作り上げた料理人クレモン・ジャズロ。数年後パリの南方の町モンタルジーに店を開いて、プラズリンの販売を始める。その店が守り続けた秘伝の製法を、1903年モンタルジーに落ち着いた菓子職人のレオン・マゼが購入。2012年、マゼはパリに出店。プラズリン以外にもアーモンドやヘーゼルナッツなどにチョコレートコーティングした種々の味がある。また最近では、ゆず味やハニー味などプラズリンのパリエーションも生まれている。

Mazet  
39, rue des Archives  
75004 Paris  
tel.01 44 05 18 08  
営) 10:00~19:00 (日は11:00~19:00)  
[www.mazetconfiseur.com](http://www.mazetconfiseur.com)

Special



彼にも教えてあげたい、贈りたい。イセタンメンズのタータンがリニューアル。



秋冬の着こなしにスパイスを与える、5つのヒントがズラリ!



フィガロ ビューティストと選ぶ最新コスメ 大人美肌の新・美活。



「ポール・スミス ウィメンズコレクション」 上陸20周年日本限定アイテムが登場!

Profile プロフィール

大村真理子

madame FIGARO japon パリ支局長

東京の出版社で女性誌の編集に携わった後、1990年に渡仏する。フリーエディターとして活動し、2006年より現職。主な著書は「とっておきパリ左岸ガイド」(玉村豊男氏と共著/中央公論社)、「パリ・オペラ座バレー物語」(阪急コミュニケーションズ)。

Backnumber バックナンバー

近頃パリでは、美味しいお菓子はパッケージングも愛らしい。

若きフレンチ・デザイナー、エティエンヌ・ドゥルレーを紹介しよう

レストランMaison F (メゾン・エフ)、ポテト・ラヴァーは薬通りにできない!!

毎日がきらきら。レンヌ・ロザリーのクリスタルでキュート&グラマラス。

パリのメルシーと Found MUJIで、フランスの日常美を発見する。

more

Search サイト内検索

Feature 特集



着て見て楽しい、アメリカンポップ。

2014.10.16

Fashion



6人のクリエイターがデザインしたニューアイテ...

2014.10.15

Fashion

more

ニュース ブログ **連載**



秋こそデトックス

2014.10.15

Beauty

経絡できれい。by 薄井理恵



近頃パリでは、美味しいお菓子はパッケージングも愛らしい。